



一中だより

令和6年7月8日（月）NO.4

武蔵村山市立第一中学校

校長 島田 治

セーフティ教室を終えて

6月13日（木）にセーフティ教室を開催しました。今回の目的は、「不正薬物とは何か。その恐ろしさと被害の現状について知る。」「税関の役割と薬物から身を守る方法について知る。」でした。講師の先生には、東京税関立川出張所長栗田 等様をはじめ多くの方々に指導いただきました

また、羽田空港の貨物検査担当犬の麻薬犬シェパード(チト号)が実演して、麻薬の分別をしていました。今回のセーフティ教室を経験して、薬物の恐ろしさについて学習することができたと思います。参加いただきました地域の皆様、保護者の皆様方、誠にありがとうございました。以下に地域の皆様方の感想をお載せいたします。

麻薬探知犬が見事に当てることができて、さすがに税関の犬だなと思いました。

麻薬犬の印象が強く、生徒の関心がそれだけに向いてしまったようなので、薬物の内容についても復習してもらいたいと思いました。



職場体験を終えて

7月3日（水）から7月5日（金）の3日間に2年生が職場体験に出かけました。武蔵村山市・東大和市・立川市・羽村市・瑞穂町の60以上の事業所や関係諸機関にお世話になりました。目的は、「実際に働く体験活動をとおして、社会で働く人々と接し、職業に対する視野を広げるとともに、自己の適性を知り、適切に進路選択しようとする態度を育てる。」「職業や勤労の意義を考え、正しい勤労観を身に付ける。」「マナー意識やコミュニケーション能力を高め、社会の一員としての自覚を高める。」ということでした。関東地方は連日の猛暑で大変でしたが、子供たちはよく頑張っていました。各事業所からは、しっかりとした挨拶ができる生徒さんですねなどのお褒めのお言葉をいただきました。

子供たちも、普段経験することができない貴重な体験をすることができたと思います。お世話になったたくさんの皆様方、誠にありがとうございました。

プライバシー保護のため、
画像を削除しています。

